

あさひむら社協だより

第
93
号

ほのぼの



世代間交流
みんなが笑顔になる
ニコニコの日

たくさんの元気パワーをもらいました!

歌に合わせて膝タッチ!新聞紙でボールを運ぶリレーなど様々なレクリエーションゲームを楽しみました。

ゲームの中では、高齢者が転ばないように走る速度を合わせる気づかいや、新聞紙を持つ手の高さを子どもの背の高さに合わせるなど、互いに気遣い声をかけ合う様子が優しさや思いやりを感じました。チーム一丸となって真剣にゲームに参加する中で、笑ったり泣いたり、元気いっぱいのが体育館中に響き自然と会話や笑顔があふれました。

社協では世代間交流を通し「おはよう!」「こんにちは!」と気軽に声をかけ合える関係づくりを地域に広げてまいります。

第33回朝日村社会福祉大会 ささえあう地域づくりを目指して

第33回朝日村社会福祉大会は、8月27日(日)に来賓・関係者・住民約100名が一堂に会し、中央公民館で開催されました。

式典では、上條兼一会長のあいさつに続き、寄附により社会福祉に貢献された4名・1団体の皆さまを表彰し、感謝状を贈呈しました。

続いて、小林弘幸村長、北村直樹議会議長から祝辞をいただいた後、本会職員から地域の防災・減災力を高めるための取組みについて、実践報告が行われました。

また、講演会ではギタリストで長野県社会福祉協議会職員の川崎昭二さんによる講演とギター演奏が披露されました。

幼少期から車椅子で生活する川崎さんが、多くの人との出会いの中で大好きなギターと真剣に向き合い、

努力を積み重ねたことで自信につながったことなど、自分の体験を飾らない言葉で話す様子に、参加者は熱心に耳を傾けました。

そして価値観や感じ方は人それぞれ異なるけれど、その違いを認めて、お互いを思いやる気持ちが大切だとの言葉に、改めて誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに向け、心をひとつにした大会となりました。

会長感謝状 篤志寄附者(順不同)

三村 篤志 様 中村 牧夫 様
古川寺観音奉賛会 様
清沢 勝治 様 下田 哲也 様



災害ボランティア講座

長沼地区視察研修

令和元年千曲川決壊により甚大な被害を受けた長野市長沼地区へ視察研修に行ってきました。

歩いて千曲川の土手に上り、被災者である妙笑寺住職夫人の笹井さんから当時のお話や復興の経過を伺いました。地域住民同士のつながりを大切にした「おじいちゃんおばあちゃん食堂」と称したサロン活動をされるなど精力的でした。その中から印象に残った言葉を紹介합니다。

「災害は同じところで繰り返し起きている。人はなぜそこに住み続けるのか?それはそこが魅力的だから。

自然の恵をいただきながら元気ある産業を育み人がつどい、寄り添い、力を合わせ、自然猛威には太刀打ちできないことを自覚しながらも、安心した生活が続くことを願っています。」

前を向き進んでいくことと、忘れてはいけない教訓を伝えつなぐ活動を両立されている姿に、胸を打たれた研修でした。



水害の歴史を伝える妙笑寺の「千曲川大洪水水位標」

カレー大作戦・作戦展開中です!

8/9

馳走よしひら

中央公民館わくわく館

7/26



夏休み中の児童に向け吉平さんご夫婦が試行錯誤の末たどり着いた「わくわくカレー」。和風だしをベースにしたジビエカレーと、もろこしごはん。カレーの上には星形に型取りした朝日産ピーツが★キラリ

二八会有志

下洗馬生活改善センター

9/30



「男の手作りカレー〜男子厨房に入る」と称し手際よく調理。じゃがいもがゴロゴロ入った王道のお父さんカレーでした。

毎回、カレー大作戦を応援してくれる NPOホットライン信州



県内でフードバンク、信州子ども食堂の運営、なんでも電話相談活動などに取り組む NPO 法人です。誰もが認め合っ「居場所」を実感できる社会を目指して活動しています。

あと4回ご家族そろってお越しください!

日にち	会場	つくり手
12月16日	一之沢生活改善センター	こぶしの会
1月20日	えべやかたくりの里	居酒屋かっぺ
2月10日	食事処もりのこびと	もりのこびと
3月16日	小野沢公民館	かみいし商店



子ども食堂朝日村カレー大作戦へ沢山の方にご来場いただきありがとうございます。

つくり手の皆さんが本気になって一生懸命カレーを作ってくれたこと、お米や野菜を寄付して下さる方、本当にありがとうございます。準備したカレーは毎回あっという間になくなり大盛況です。

以下は参加者から寄せられた感想です。

「夏野菜トマトやコーンがたっぷり入っていて甘くて優しいカレーでした。作って頂いたカレーを子どもと食べられる幸せ。沢山の野菜やお土産も頂き、子どもが多いわが家は助かります。」 40代女性



「初めて頂きました。私も孫たちも大変美味しく頂きました。これからも地域のためにがんばって下さい。」 60代男性

どこのカレーも味が違い、食べ比べ楽しみです!子どもと食事ができ出掛ける居場所が出来てうれしいです。 40代女性

子ども食堂と聞くと「経済的な貧困で食事が満足に食べられない子どもが行くところ」というイメージが先行していますが、本来子ども食堂とは「子どもが気軽に入れる場所であり、大人も利用できるような場所」という意味が込められています。つまり子ども食堂とは「子どもだけの食堂ではない」ということです。「困った」を限定せず子ども、保護者、高齢者、地域の人「みんなの食堂」なのです。地域の方や飲食店、各機関がつながり子育て家庭を応援しながら、地域が元気になることを目指しています。

さんがサロンスタッフ

三ヶ組公会所



トマトをベースに夏野菜 10 種を煮込んだ郷土愛たっぷりカレー。朝採り野菜のおすそ分けコーナーも登場し賑わいました。

育成会

中組生活改善センター

10/21



「さつまいも、きのこが入った秋のほっこりカレー」育成会の親子仲良く煮込んだ優しいお母さんの味でした。

商工会女性部

中央公民館講堂

11/4



思案試作を重ねたどり着いた「朝日産野菜たっぷりなかよしキーマカレー・おやさしいっぱいたべてかれ〜」文化祭に合わせ 300 食を提供。行列に並んで買えなかった方、ごめんなさい



フードドライブ

食糧支援事業

フードドライブとは、ご家庭で余っている食品を、必要としているご家庭へ提供する仕組みです。
※地域の皆さんからいただいたお米のため数に限りがあります。

生活や家計が厳しいご家庭へお米を無料で配布しています。

配布期間 12月1日(金)~令和6年1月31日(水)

- 対象世帯
- 食糧価格の高騰により生活や家計が厳しい世帯
 - 失業や休業等により収入が減り生活に困りの世帯
 - 住民税非課税世帯・就学援助世帯・ひとり親世帯
 - その他食糧を必要としている世帯

申込方法 電話又はメールにて事前にお申込み下さい

申込窓口 朝日村社会福祉協議会

電話.99-2340 FAX.99-2733
asahi-syakyu4@go.tvm.ne.jp

メール用申込
2次元コード



歌や会食で笑顔に < 第11回 高齢者ふれあいの集い >

一人暮らしの高齢者を招いた「第11回ふれあいの集い」が、小林村長、北村議会議長などの来賓を迎え、えべやかたくりの里で開催されました。約30名の参加者はアトラクションや会食などで楽しい時間を過ごしました。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となりましたが、「長く会えなかった人と出会えて元気が出た。また

明日からもがんばろう」と言っただけい声が聞かれました。この集いは、民生児童委員さん、コーヒーボランティアさんをはじめ地域の皆さんの応援も得て開催されているもので、集いをつじて多くの人々のつながりが生まれます。また来年も元気でおいししましょう。



懐かしい顔に 会話ははずみます

白木母娘(おやこ) による歌謡ショー

知的障がい者育成会研修会

～ゆっくりと一緒に歩いていこう～
特性のある子の子育てに悩んでいませんか

我が子との上手なつき合い方

公認心理士の遠田将大先生を迎え、脳の機能からくる行動を分析し関わりを探りました。託児ルームも開設し17名の参加をいただきました。知的障がい者育成会会長の浅見さんは、「子育てをしている親が繋がる場所が必要です。また、療育手帳を

取得する事に抵抗があるかもしれませんが、子どものお守りだと思って取得していただき、福祉サービスの活用や、育成会の仲間として一緒に子育てをしていきませんか」と呼びかけました。遠田先生の研修会は来年度も継続して開催してまいります。



気持ちが楽になるような、信頼できる相手を見つけていこう。

希望の旅

山梨県へGO!



村内在住の知的障がい・身体障がい・精神障がい等をお持ちの方やそのご家族介護者を対象に交流や社会参加を目的としたバス旅行へ行ってきました。



はいチーズ!



和洋中のバイキングで満腹～吉田のうどんはコシが強い!



バリアフリーで遊覧船も楽しめました。

公共交通利用援助事業

おとなのはじめてのおでかけ

朝日・波田線のバスに乗って松本市立病院へ行ってきました。病院までの約1時間の道のり、駐車場所やルートをみんなで確認し体験しました。バスや電車を使って「出掛ける」という経験は、免許返納後の生活への備えとなり、車が無くても暮らせるという自信となります。



今日は病院で降りたけど、今度は、アイシティで映画を見て美味しいもの食べに行きたいね!



フレイル予防の講座を体験。



支払は電子決済もできるんだね。でも私には難しいわ。

デイサービスでのひとこま

鉢盛中学校の皆さんとの交流会



鉢盛中学校の19名の皆様が、かたくりの里へ福祉交流訪問して下さいました。素敵な歌のプレゼントがありました(^^)♪(^^)♪

アルコイリスの皆様によるフラメンコ演奏



ギターの生演奏に合わせて踊る情熱のフラメンコを楽しみました。

銭太鼓を楽しむ会の皆様によるダンス



銭太鼓の歌とダンス・手遊びと一緒に楽しみました。

火災避難訓練



利用者様が安全に利用して頂けるよう毎年訓練を行っています。

百歳を祝う会



かたくりの里を利用されている上條ちひろさん・林多恵子さんが祝100歳を迎えました。これからも元気にかたくりの里へ来てくださいね。

母娘3代スリーMの皆様による歌謡ショー

敬老会イベントにて親娘3代スリーMの皆様をお招きしての歌謡ショーを開催しました!! 毎年、親娘3代の美しい歌声を楽しみにされている利用者様もいます。



可愛いお客様の訪問

かたくりの里に小さなお客様がおみえになりました。サプライズで可愛い歌のプレゼント!元気をもらいました。



かたくりハロウィン



かたくりに色々な表情のおばけが来ています。

干し柿作り



大きな干し柿 美味くなあれ(*^-^*)

えべやミニデイでのひとこま

10月から木曜日を休止し、週1回営業となりました。理由のご利用者の減少と社協の経営上の見直しによるものです。

みんなで手作り「お好み焼きパーティー」ビールで乾杯!



できる事はご自分で!



緩和型通所サービスの原点へ回帰



この後、もろこしはわくわく館児童へおすそ分け!



もろこし皮むき競争! 早い早い!

三ヶ組の塩原ぶどう園にて



ぶどう狩りへレッツゴー!



季節の絵手紙 新鮮な夏野菜をダイナミックに描きました

令和5年度朝日村社会福祉協議会 会員(会費)のお礼とご報告

本年度も多くの皆様から社会福祉協議会の会員(会費)にご加入をいただきました。社協の会費は、地域での支えあい活動を始め、地域づくりのための様々な福祉事業に活用させていただきます。

今後も社協活動へのご理解・ご支援をお願い申しあげるとともに、ご協力いただいた村民・企業の皆様はじめ、会費の取りまとめにご尽力いただいた支部長さんなど、すべての方々に心からお礼を申し上げます。

会費総額 1,432,200円

【個人会員 1,038世帯 1,257,200円】 【企業会員(順不同) 30社 175,000円】

2 □ 清沢土建株式会社／有限会社小林工務店／鉢盛自動車整備工場
鉢盛運送株式会社／株式会社大和屋

1 □ 愛品物流株式会社／株式会社朝日音響研究所／有限会社朝日自動車／朝日郵便局
株式会社オー・エス・ピー／有限会社オールライト／有限会社おもと急送
カンロ株式会社朝日工場／協同製本工業有限会社／有限会社キヨサワ
株式会社高原ベジフル／株式会社西南製作所／そば処もえぎ野
高松市場運送株式会社松本営業所／タジマモーターコーポレーション朝日
株式会社デリカウェブ／株式会社ARC東京堂／ネグロス電工株式会社／有限会社原製作所
株式会社ホクエツ信越松本営業所／松本ハイランド農業協同組合朝日支所
三村木工有限会社／ヤマサ総業株式会社／やまふる観光／NPO法人レスパイトケアはちもり



皆様からの会費が
地域を支えます

朝日村ボランティアのつどい

ポッチャ交流会 が開催されました

ボランティア同士の交流と親睦を目的に、障がい者スポーツ「ポッチャ」を楽しみました。県体育協会の協力を頂き、ジャックボールという目標玉を目掛けて、どんどん投げあいました。豪華景品をかけて熱い戦いが展開され、皆さんすっかりポッチャの虜になっていました。

ポラ連では新たにボランティアを始めてみたい、興味のある方の参加もお待ちしております。お友達も誘ってお気軽にご参加ください。



ふれあい学習 大町市へ

北アルプス信濃の森 工場見学

毎月様々なテーマで学習交流を行う「ふれあい学習」。今回は、大町市にある飲料メーカーの工場見学に訪れました。

北アルプスの麓、自然豊かな森に囲まれた工場で天然水を使った製品ができる過程を、自然や環境を守ることの大切さも交えながら学びました。

年に1回の村外での学習会に、皆さん熱心に説明に聞き入りながら、笑顔と会話が絶えない1日となりました。

ふれあい学習は概ね65歳以上の方であればどなたでも参加できます。「えべや かたくりの里」だよりで講座内容を案内していますので、興味のある講座から参加してみませんか。



皆様からのご寄付

令和5年7月1日から令和5年9月30日まで(受付順)

匿名様 5,000円
上條弥太郎様...とうもろこし
匿名様 洋梨

匿名様 10,000円
匿名様... グラジオラス(2回)

皆様からのあたたかいご寄付に、心からお礼申し上げます。
ありがとうございました。

